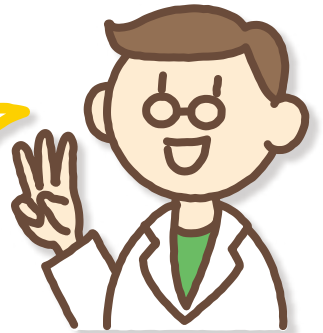


4

平成21年度予算から ふじさわの財政状況を見てみよう

1 市のお財布はどうなっているの？

藤沢市の予算は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。



1,148億
9,980万円

一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。家計に例えると生活費に使うお金の出し入れするお財布です。

平成21年度の当初予算の額は、1,148億9,980万円になっています。

次のお財布は「特別会計」です。

特定の収入があり、お金の出入りをはっきりさせるために一般会計とは別になっています。藤沢市には、「国民健康保険事業費」や「区画整理事業費」「墓園事業費」など10の特別会計があります。

662億
6,158万円

特別会計

- 北部第二(三地区)土地区画整理事業費 15億2,832万円
- 競輪事業費 40億7,353万円
- 墓園事業費 4億4,253万円
- 国民健康保険事業費 358億6,580万円
- 地方卸売市場事業費 1億7,528万円
- 老人保健事業費 9,567万円
- 柄沢特定土地区画整理事業費 9億8,128万円
- 湘南台駐車場事業費 1億4,790万円
- 介護保険事業費 190億3,622万円
- 後期高齢者医療事業費 39億1,505万円

344億
2,737万円

公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

下水道や病院など普通の会社と同じように利用した人から料金をもらって事業を行っているお財布です。藤沢市にはこの二つの公営企業会計があります。

- 下水道事業費 185億5,685万円
- 市民病院事業 158億7,052万円

一般会計
53.3%

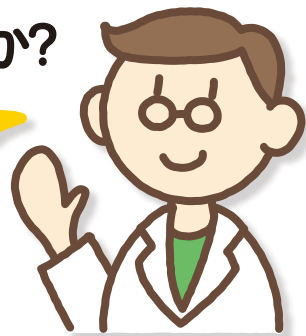
公営企業会計
16.0%

特別会計
30.7%

全会計 (100%)
2,155億8,875万円



2 市の歳入(入ってくるお金)はどんな状況ですか?



では、皆さんに一番身近で、一番お金の出入りが大きい一般会計のお財布を例に、平成21年度の歳入(入ってくるお金)がどのようになっているのか見てみましょう。



藤沢市の歳入(入ってくるお金)には、自主財源と依存財源という2種類の性格があります。

自主財源
882億
198万円

皆さんに納めていただく市税や、公民館などの施設を利用する時に納めていただく使用料、住民票や印鑑証明書を取るときにいただく手数料など、藤沢市が自主的に収入することができるお金のことを言います。



市民のみなさん

藤沢市

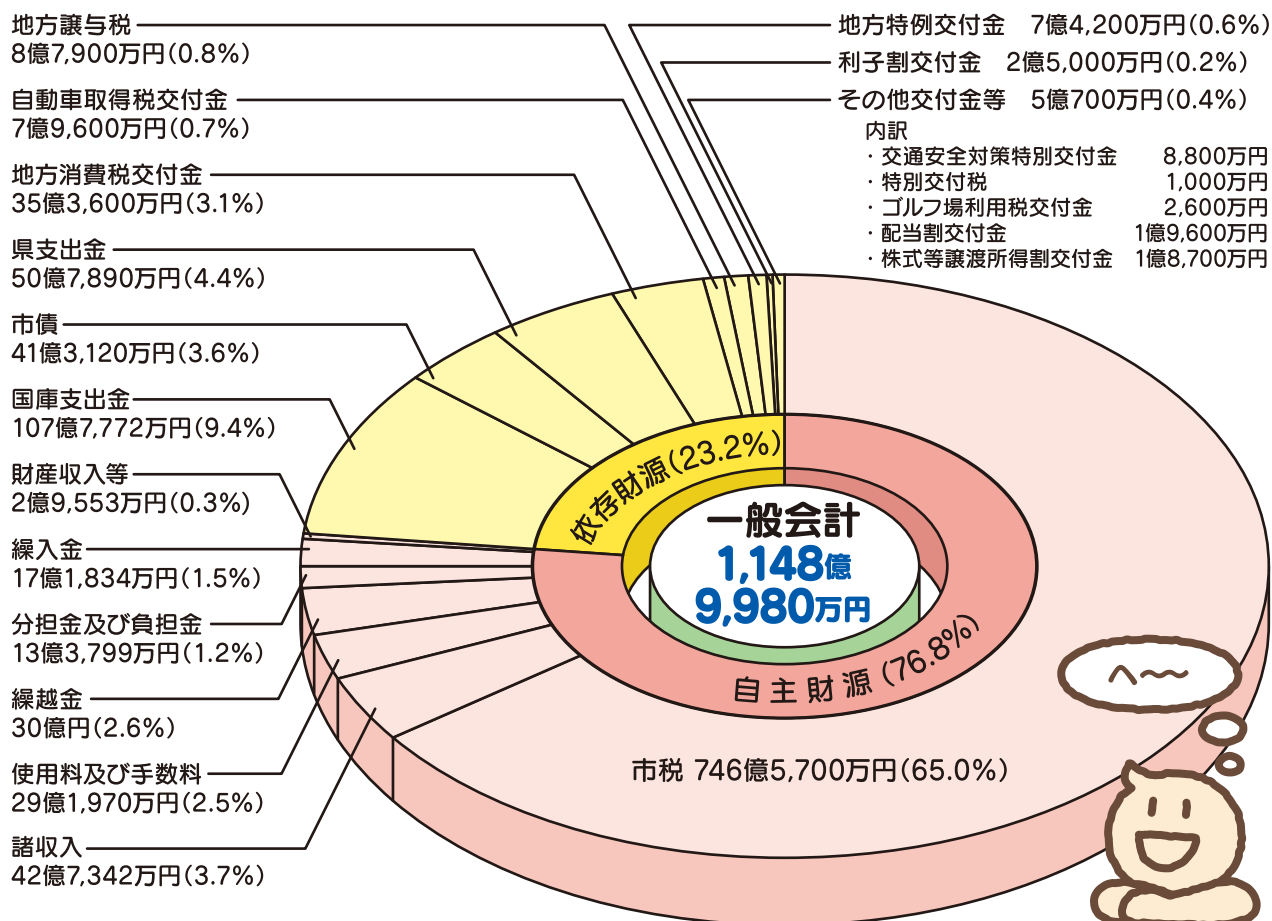
依存財源
266億
9,782万円

一方の依存財源とは、道路や施設を作るときに国からもらう国庫支出金や県支出金、同じように道路や施設を作るときに借りる市債、国や県から一定の基準でもらう交付金や譲与税がこれにあたります。依存財源は市の都合で増やしたり減らしたりできないお金です。また使い道が決められているお金も入っています。



国や県

藤沢市



3 市の歳出(出て行くお金)はどんな状況ですか?

入ってきたお金は、どのように使われているのでしょうか。今度は歳出(出て行くお金)について見てみましょう。

市では、道路や学校を作ったり、火災や急病に備えて消防車や救急車を持っていたり、子育てや福祉にお金を使ったり、さまざまな事業にお金を使っています。

では、目的別に何にお金を使っているのでしょうか? 簡単に説明すると次のようになります。



総務費
市の庁舎や市民センター、市民会館の運営や、広報の仕事、税金の仕事や住民票の仕事に使われます。防災に関するお金も総務費に含まれます。

環境保全費
交通安全や防犯対策、公害などの防止、緑地の保全に使われます。

民生費
子育てに関する仕事や保育園の運営費、小児医療、高齢者や障害者などの福祉に使われます。

衛生費
ごみを集めたり処理したりする経費や保健所の運営費、より健康になってもらうための仕事に使われます。

商工費
商店街や中小企業を応援したり、たくさんの観光客に来てもらえるように宣伝したり観光施設を管理したりする仕事に使われます。

土木費
道路や橋を整備したり、公園を作ったり管理するお金や、市営住宅を管理するのに使われます。

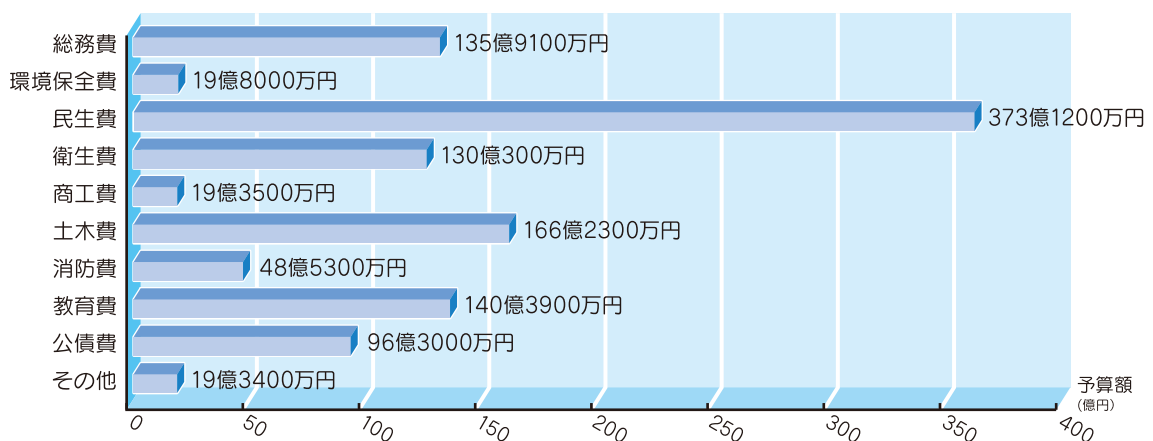
消防費
消防車や救急車を管理したり買ったりするお金や消防署の整備に使われます。

教育費
小学校や中学校の校舎や体育館、公民館や図書館、スポーツ施設の整備や運営に使われます。

公債費
大きな施設や道路を作る時に銀行などからお金を借ります。それを返していくのに使われます。

その他
議会の運営や農業、水産業を応援する仕事、働いている人や仕事を探している人を応援する仕事に使われます。

● 目的別のお金の使い道

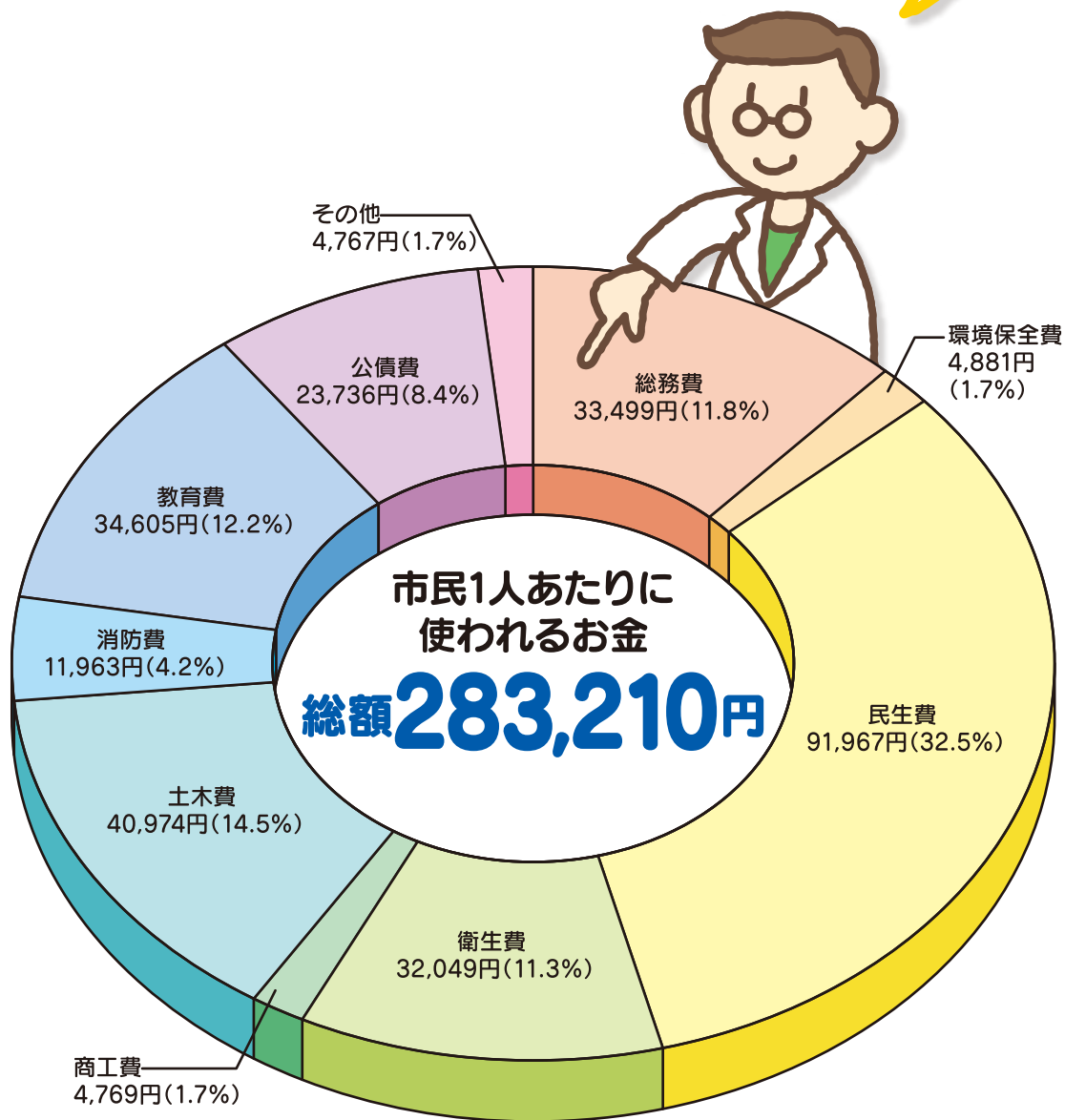


※100万円単位で四捨五入しています。

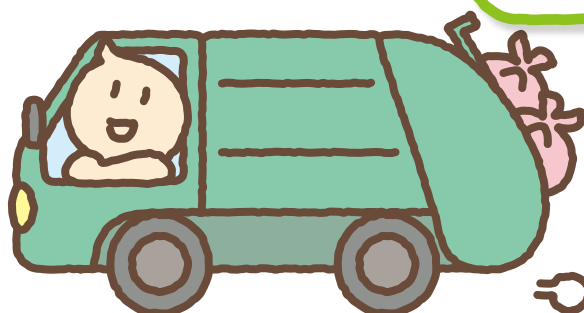
4 市民1人当たりの市民サービス額はどのくらい？

では、どのような割合で使われているのでしょうか？ 金額が大きすぎて判りづらいと思いますので市民1人当たりでいくら使われているのか見てみましょう。

平成21年1月1日の推計人口、405,705人で計算します。



ごみの処理にはどのくらいのお金が使われているのでしょうか？



1年間のごみの量	137,646トン
処理するのに使われるお金	72億1,817万円
市民1人あたり	年間17,792円 1日49円
1世帯あたり	年間42,415円 1日116円



5 家計簿に例えて見ると

藤沢市のような地方公共団体は、単式簿記で出入りするお金を管理しています。単式簿記は家計簿と同じ考え方なので、出入りするお金を家計簿に例えて見てみましょう。

家庭の家計と市の財政では、お金の使い道が違うので単純に比べられませんが、例えば藤沢市の予算を年収500万円の家計に置き換えてみると…



藤沢市の予算

こうなります。

収 入		支 出	
市 税	746億5,700万円	人件費	269億4,243万円
使用料、手数料など	135億4,498万円	扶助費	204億8,416万円
【自主財源合計】	882億 198万円	物件費	193億5,206万円
国・県支出金など	225億6,662万円	投資的経費・維持補修費	146億8,509万円
市債の発行	41億3,120万円	公債費	96億2,358万円
		繰出金・補助費など	215億4,361万円
		積立金・貸付金	22億6,887万円
収入の合計	1,148億9,980万円	支出の合計	1,148億9,980万円

家計簿に例えると…

こんな感じかな…

収 入		支 出	
お父さんの給料	324万9,000円	食 費	117万2,000円
お母さんのパート代	58万9,000円	医療費	89万1,000円
【給料等の合計】	383万8,000円	光熱水費や被服代	84万2,000円
その他臨時収入	98万2,000円	家の増築・修理、家財購入	63万9,000円
住宅ローン借入	18万円	住宅ローン返済	41万9,000円
		子どもへの仕送り	93万8,000円
		貯 金	9万9,000円
収入の合計	500万円	支出の合計	500万円

このほかにローンの残高や預貯金の残高は、どうなっているのでしょうか？

ローンの残高(市債残高) 844億4,600万円 家計では367万5,000円
 預貯金の残高は(基金残高)114億7,600万円 家計では 49万9,000円

※平成19年度一般会計の決算額をもとにしています。

収入ではお父さんやお母さんの給料で76.8%を占めています。年間の借金も多くはありませんね。

支出では、医療費やローンの返済、子どもへの仕送りなど、なかなか節約が難しい経費が大きいですね。

